

企業価値の向上に向けて

FFG独自の成長ドライバー

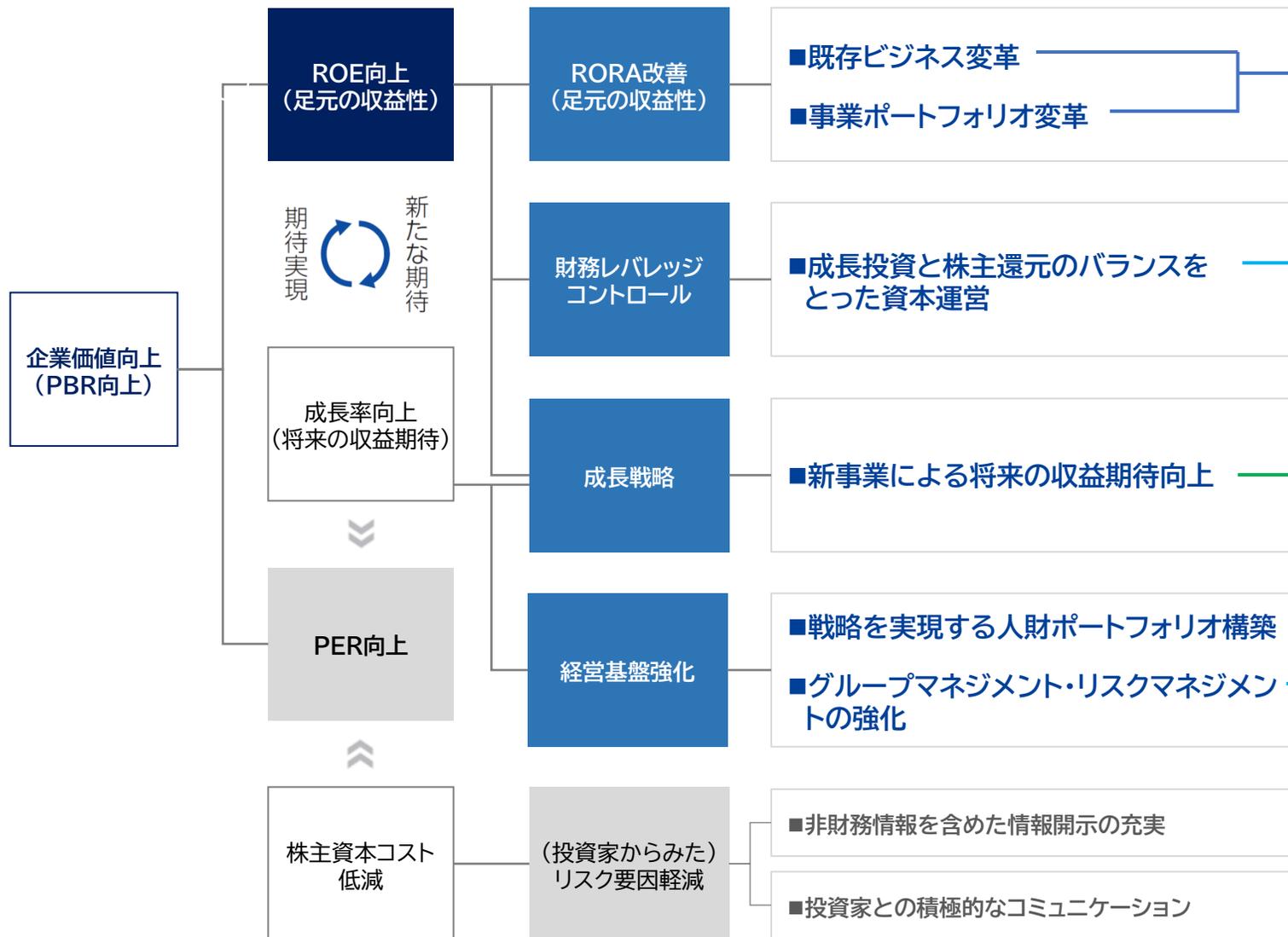
2025/09/08



一歩先に行く発想で、
地域に真のゆたかさを。

本日のアジェンダ

■ ロジックツリー



本日のアジェンダ
= FFG独自の成長ドライバー

1. 九州経済の現状と今後の成長
2. FFGの顧客基盤
3. 半導体関連エコシステムの形成
4. 投資銀行ビジネス
5. シングルプラットフォーム・マルチブランドの進化
6. デジタルを起点とした成長戦略 (FFG経済圏の構築)
7. 人財の獲得・育成

1. 九州経済の現状と今後の成長①

九州の2025年度実質GRP予測 54.2兆円 (3年連続で過去最高額となる見通し)

出所:九州経済調査協会

九州への インバウンド 約500万人/年

出所:九州運輸局

長崎県:100年に一度の変革期

西九州新幹線開通 新長崎駅ビル開業

西九州新幹線利用者数
開業前比:106%(開業2年目)

出所:九州旅客鉄道株



長崎スタジアムシティ 開業

来場者数
半年で250万人



出典:㈱ジャパネットたかたホールディングスプレスリリース

その他ピックアップ

APLによる データセンター開発

福岡県北九州市・糸島市で
総額1兆円規模のデータ
センター開発を計画

九州電力(株)による 脱炭素投資

2026年3月期から
36年3月期の11年間に
1.5兆円を投じる計画

福岡県:大規模再開発プロジェクト等が進行

博多コネクティッド 天神ビッグバン

経済効果:合計1.3兆円/年

出所:福岡市



画像出典:西日本鉄道株プレスリリース

福岡空港第2滑走路 供用開始

発着回数最大20%増

出所:九州地方整備局



画像出典:九州地方整備局プレスリリース

熊本県:TSMC進出と交通インフラの整備

TSMC進出

第2工場:年内着工予定
(8/21報道時点)



阿蘇くまもと空港 アクセス鉄道

2027年度着工予定



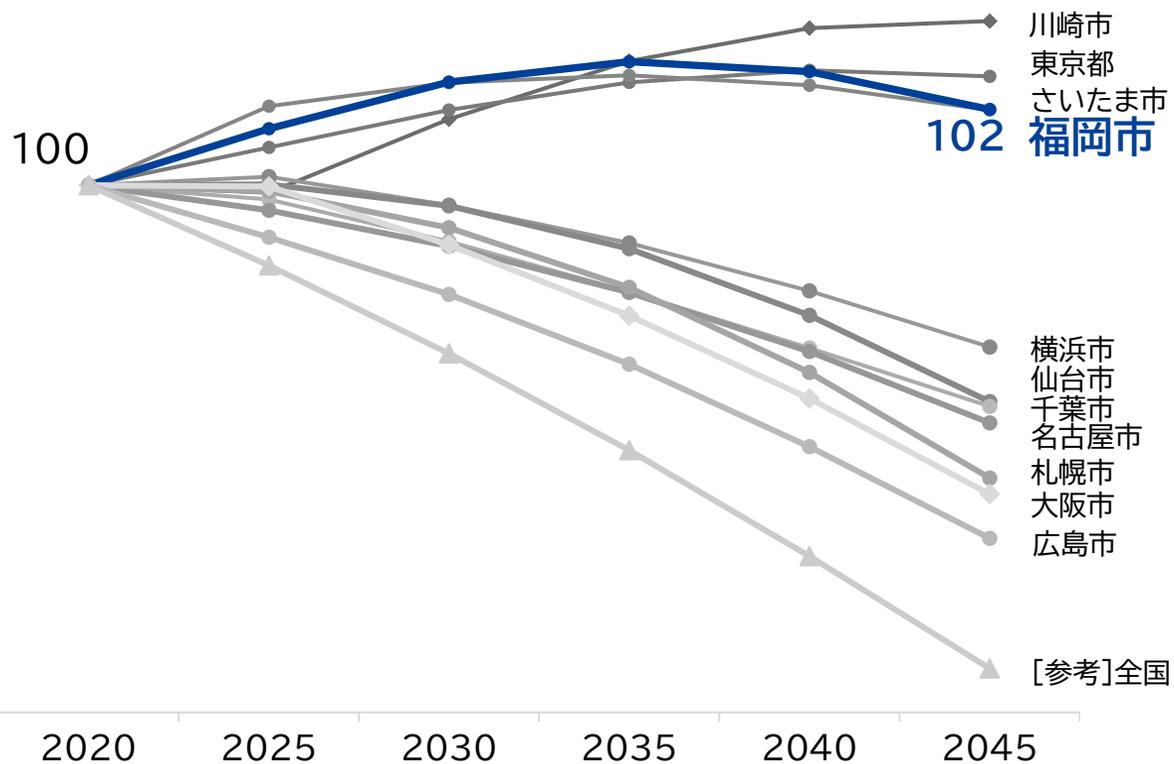
阿蘇くまもと空港
アクセス鉄道
Asokumamoto Airport Access Railway

1. 九州経済の現状と今後の成長②

- 九州は首都圏外の地方において、唯一中核都市の人口増加が見込まれる地域
- インバウンドは過去最高のペースで増加しており、九州の賃金増加ペースも全国を上回る状況

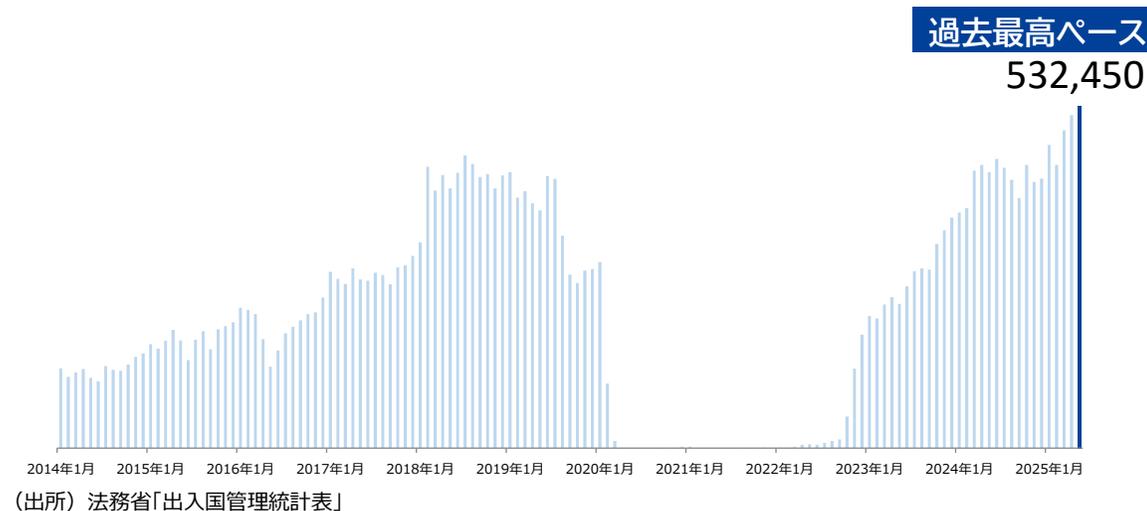
主な政令指定都市及び東京都の人口推移予測

【2020年=100】

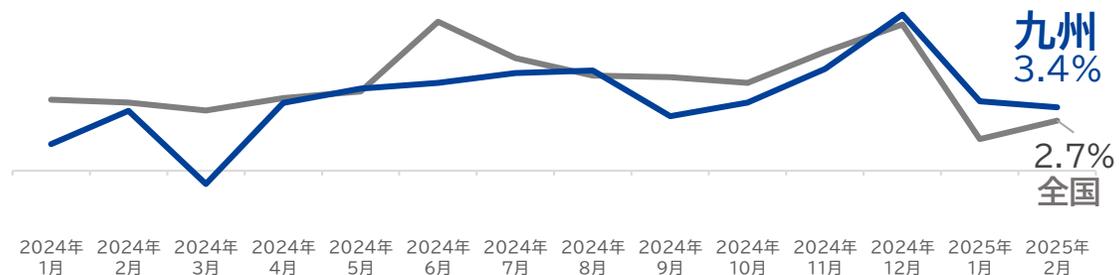


(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

九州の月別外国人入国者数の推移



現金給与総額(前年比)の推移



1. 九州経済の現状と今後の成長③

- 人口増加が予測される福岡市のほか、TSMC進出を背景に熊本市や大津町でも地価が上昇
- TSMC進出等により、九州の民間企業の設備投資は全国を上回る水準で推移

公示地価の変動率(2025年1月1日)

【全用途】

福岡県福岡市(平均) 9.9%…21大都市中**1位**

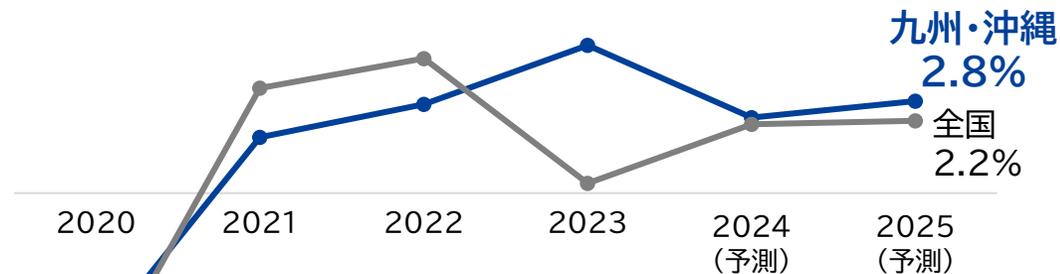
【工業地】

熊本県菊池郡大津町 33.3%…全地点中**1位**

熊本県熊本市東区 21.0%…全地点中**4位**

※…21大都市は政令指定都市20+東京都区部
(出所) 国土交通省「令和7年地価公示」、福岡市「Fukuoka Facts」

民間企業設備投資(前年比)の推移

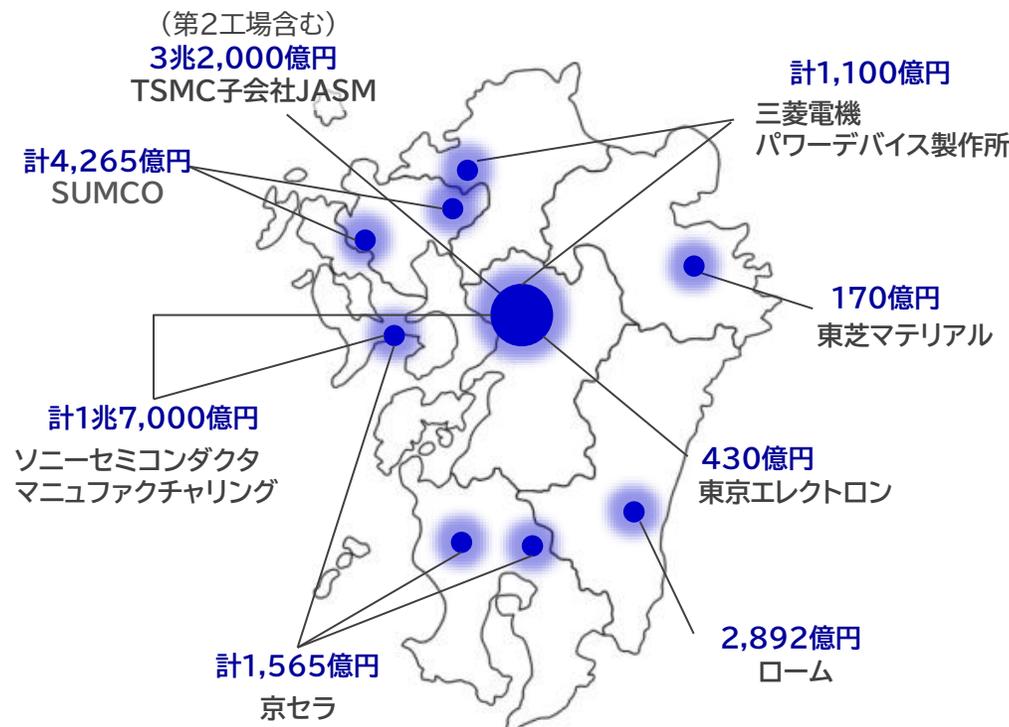


(出所) 九州経済調査協会「九州ビジネスレビュー」

九州における半導体関連設備投資計画

(2021年から2030年の10年間)

設備投資 **6.2兆円** >> 経済波及効果 **23.0兆円**



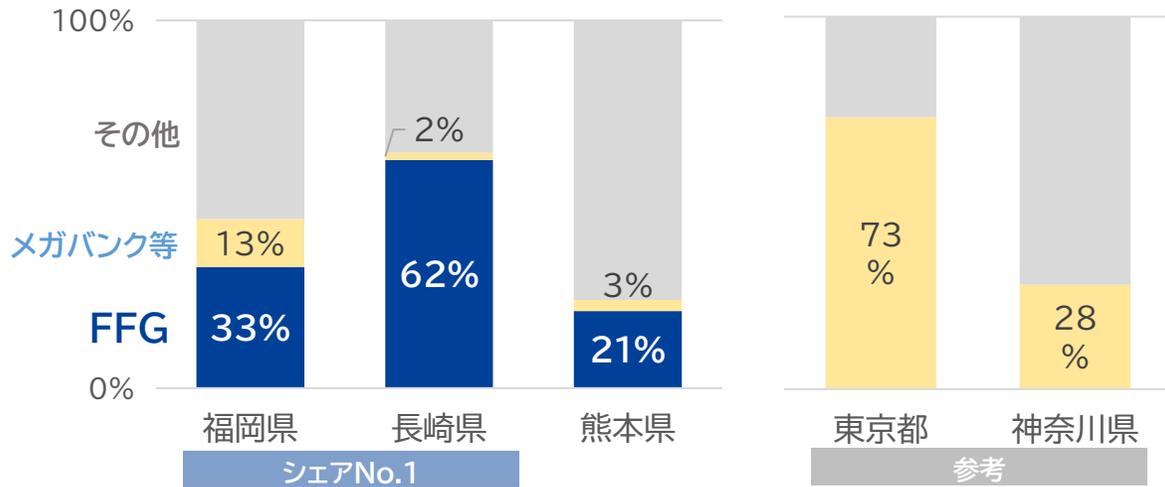
うち、九州企業による投資は110件・総額1,194億円

(出所) Q-BASS

2. FFGの顧客基盤

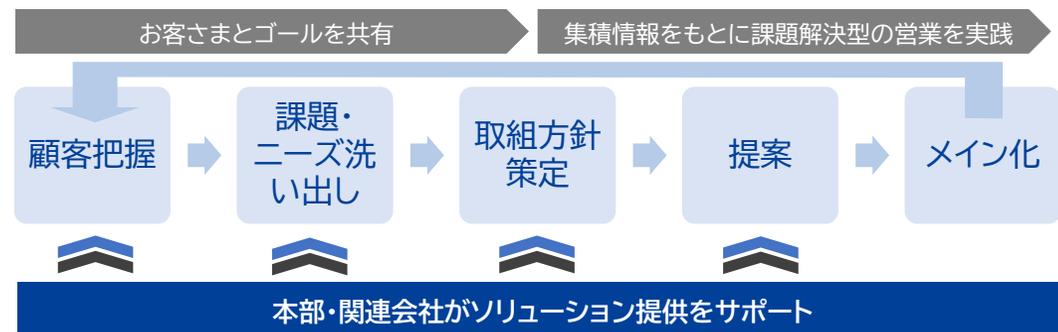
- FFGは営業エリアにおいて高いシェアを持ち、メガバンクの存在感も九州では比較的小さい
- 7次中計より取り組んできた“ゴールベース型営業”の成果により、他行を上回るペースでメインバンク先が増加

営業エリア各県における貸出金残高シェア(2024/3期)



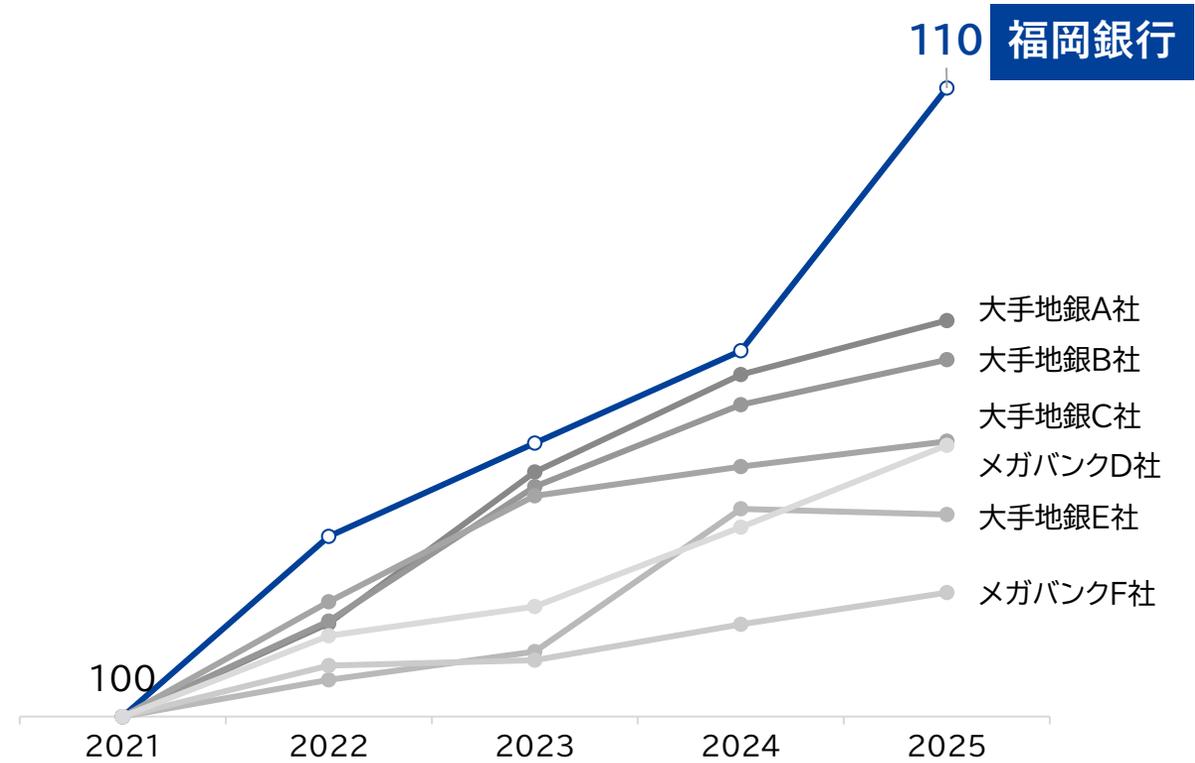
(出所) 金融ジャーナル

ゴールベース型営業・本業支援の取り組み(第7次中計~)



メインバンク先数の推移(増加率)

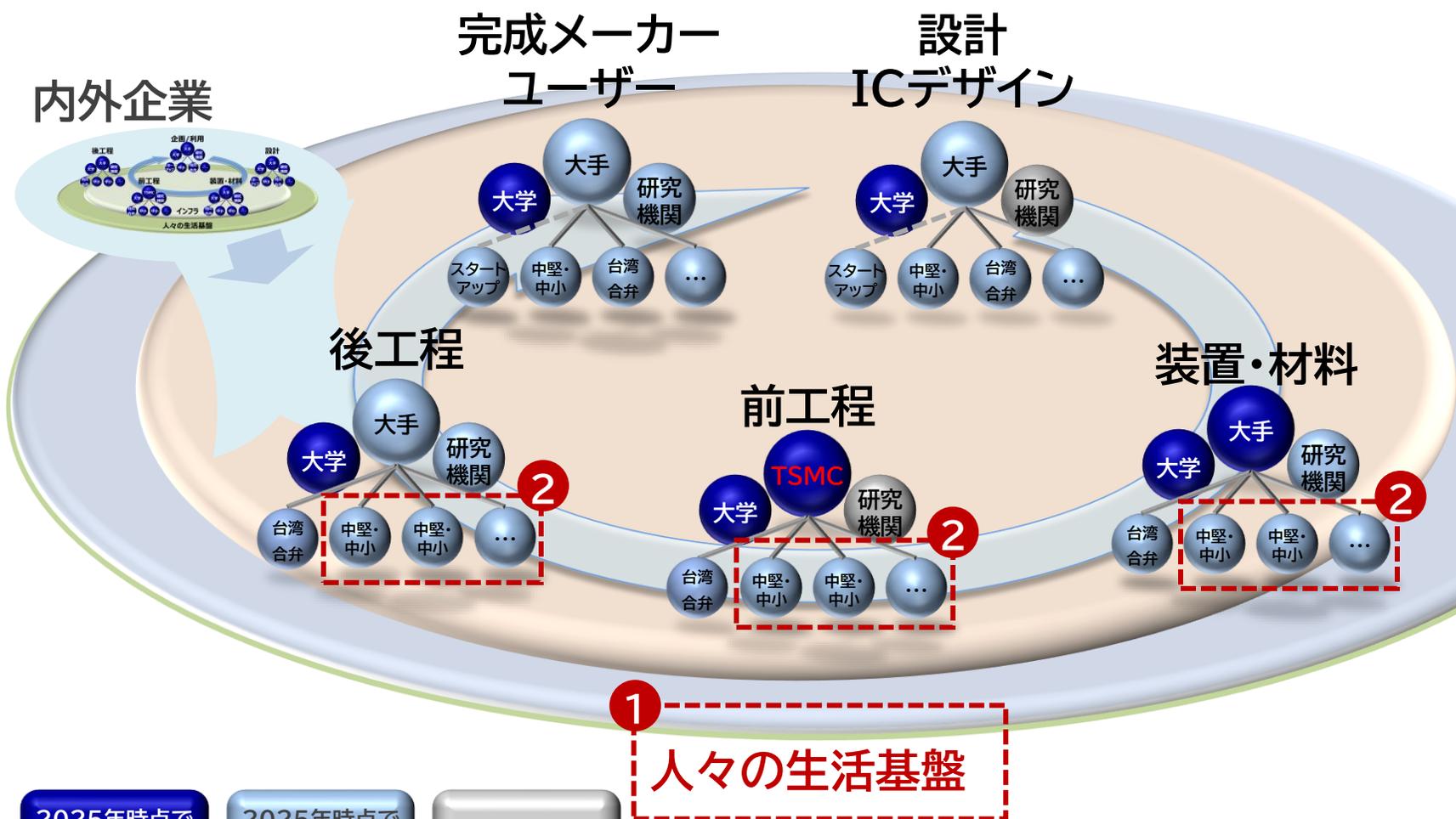
【2021年=100】



(出所) 東京商工リサーチ

3. 半導体関連エコシステムの形成①

■ 半導体エコシステムとFFGの主なビジネス機会



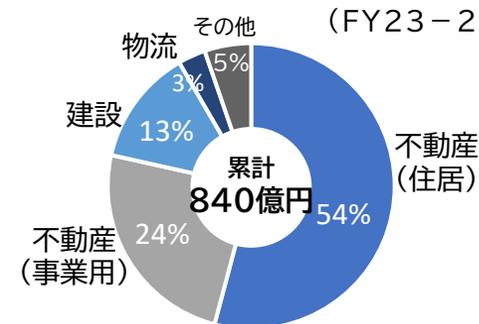
2025年時点で九州に拠点があるもの

2025年時点で一部九州に拠点があるもの

2025年時点で拠点がないもの

関連融資実行額 ① + ②
約1,700億円

① 半導体除く関連融資実行額 (FY23-24)



■ 熊本銀行の貸出金年率(平残)

FY23	FY24	FY25(計画)
+2.4%	+5.0%	+4.1%

② FFGの半導体関連取引 (2025/6末)

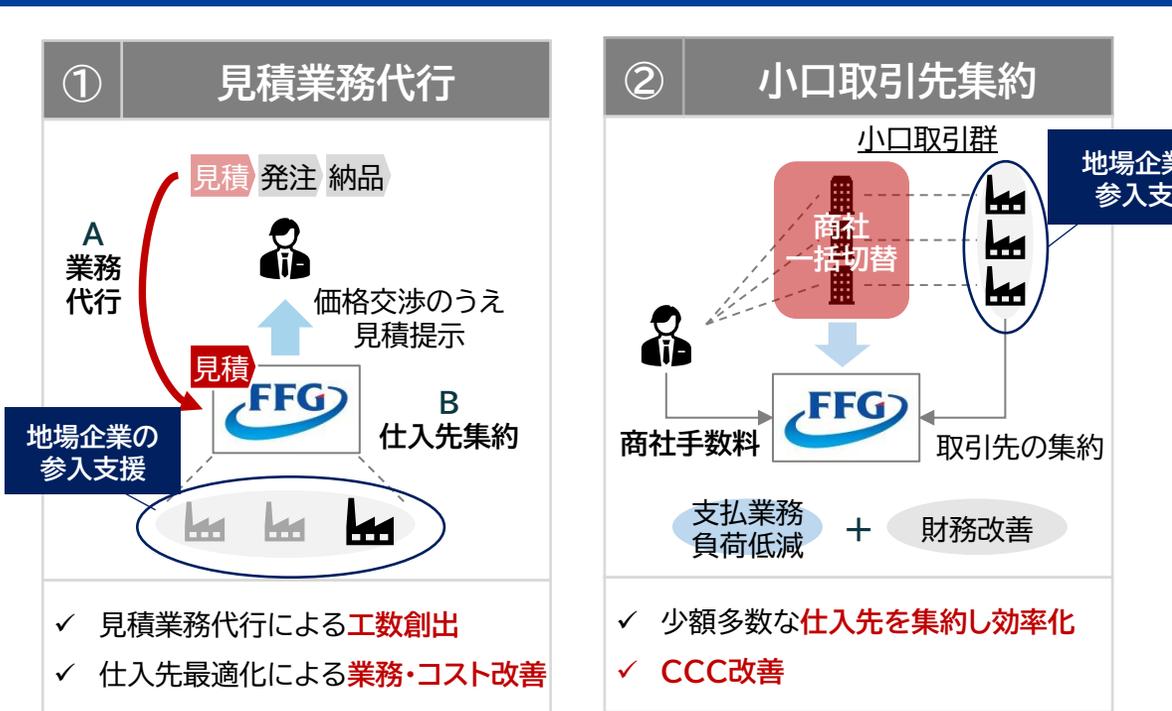
取引先数	約600社
残高	約2,200億円

■ 半導体関連の融資実行状況 (手持案件)



3. 半導体関連エコシステムの形成② 【取組事例:地域企業のサプライチェーン参入支援】

A) FFGインダストリーズによる半導体関連企業(国内・海外)からの調達業務受託



- ✓ 見積業務代行による**工数創出**
- ✓ 仕入先最適化による**業務・コスト改善**

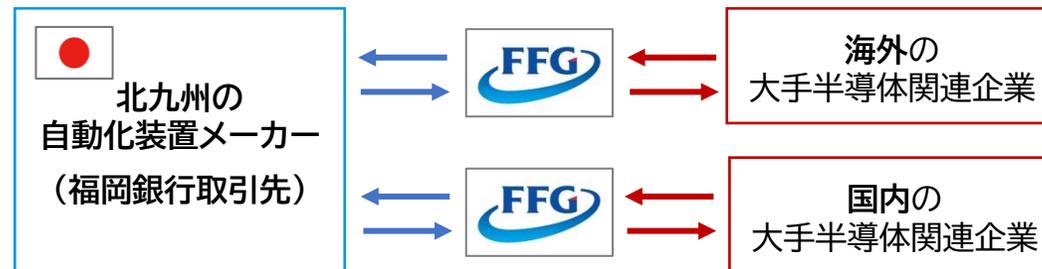
- ✓ 少額多数な**仕入先を集約し効率化**
- ✓ **CCC改善**

ニーズ	大企業	海外企業	地場企業
	✓ 調達窓口が多く、人的・リソース・コスト負担が大きい	✓ 日本国内に調達のネットワークを持っていない	✓ 大手・海外企業との接点が少なく、調達ニーズの把握が困難

【今後の拡がり】



B) 大手半導体関連企業(国内・海外)と地場中小企業の新規取引にかかる信用補完



地場企業の強みを知るFFGが商流に介入することで、新規取引を創出

【参考】FFGインダストリーズ



株主	FFG100%
設立	2023年5月
FY24売上	6億円

セグメント	内容
受発注サポート	- 金属加工 - 装置組立
設備サポート	- 自動化設備 - 工場新設 - 改修提案
商流サポート	- 信用補完 - 調達代行



- 顧客の本業に関わることで得られるデータや知見により、FFGのソリューションを高度化
- 取引のメイン化、総合取引の拡大により、グループ収益の最大化を図る

3. 半導体関連エコシステムの形成③【取組事例:地場企業の技術力の次世代への承継】

「株式会社 俵工業所」の事業承継支援（2025/3～支援中）

〔会社概要〕

- 創立60年を超える歴史を持ち、**半導体や液晶関連、工作機械等のフレームやブラケットなどを制作する精密板金加工の専門企業**(メインバンク:福岡銀行)

〔経緯〕

- 当社が抱える**事業承継の課題(オーナーの高齢化・後継者不在)の解決、組織的な経営への移行を支援**するために、事業パートナーと共同にて**FFG成長投資が資本参画**

〔FFGの支援内容〕

1. FFG成長投資による出資

2. 福岡銀行によるLBOローン

3. FFGインダストリーズによる顧客振興・開拓



【参考】



株主	FFG100%
設立	2021年4月

〔投資対象〕

- 事業承継/事業再生/地域活性化事業

〔投資事例(一部抜粋)〕

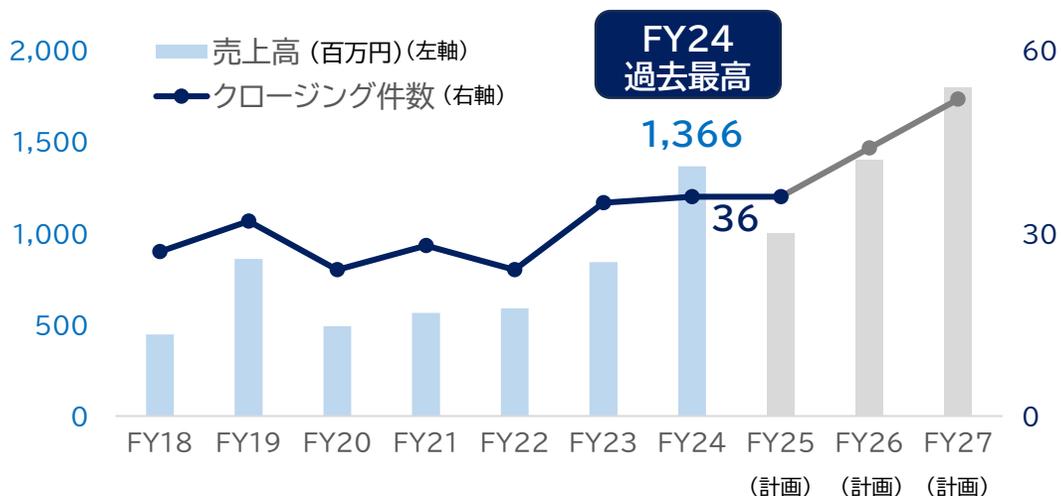
会社名	業種	投資時期	経緯
ビコム株式会社	映像制作 (福岡県)	2022年3月 (支援完了)	事業承継
ニュー長崎ビルディング株式会社	ホテル不動産賃貸 (長崎県)	2022年3月	事業承継 事業再生
株式会社 C&G'S Atelier	菓子製造 (福岡県)	2022年8月 (支援完了)	事業承継
株式会社 俵工業所	精密板金加工 (福岡県)	2025年3月	事業承継
株式会社 坂本石灰工業所	石灰乾燥剤製造 (熊本県)	2025年3月	事業承継

事例の詳細は、FFG成長投資ホームページに記載しています。
<https://www.ffg-growth.co.jp/case/#>

4. 投資銀行ビジネス① 【FFGのM&Aビジネス】

■ 地域経済を牽引する地場中堅・中小企業の事業承継に向けて、M&Aビジネスに注力

FFGのM&Aビジネス実績推移



〔成約事例(一部抜粋)〕

売り手	買い手
株式会社萬坊 (佐賀/飲食・食品製造)	九州旅客鉄道株式会社 (福岡/鉄道)
株式会社福岡キャピタルパートナーズの 運営ファンド 【対象会社: トップ卵株式会社 (福岡/食品製造)】	ヤマエグループホールディングス 株式会社 (福岡/食品卸)
エンデバー・ユナイテッド株式会社の 運営ファンド 【対象会社: 株式会社中條工務店 (福岡/建設)】	株式会社トーアミ (大阪/土木建築用資材製造販売)

事例の詳細は、FFGサクセッションのホームページに記載しています。
<https://www.fukuoka-ma.co.jp/#cases>

⇒ 地域企業の買い手は、シナジーを見出しやすい地域中核企業となるケースが多いため、FFGが持つネットワークに優位性がある



【参考】FFG Succession (M&A専門会社)

FFG Succession

株主	FFG100%
設立	2022年4月

【サポートメニュー】

- 方針策定から、契約交渉まで、ワンストップでサポート

【パートナー探索における強み】

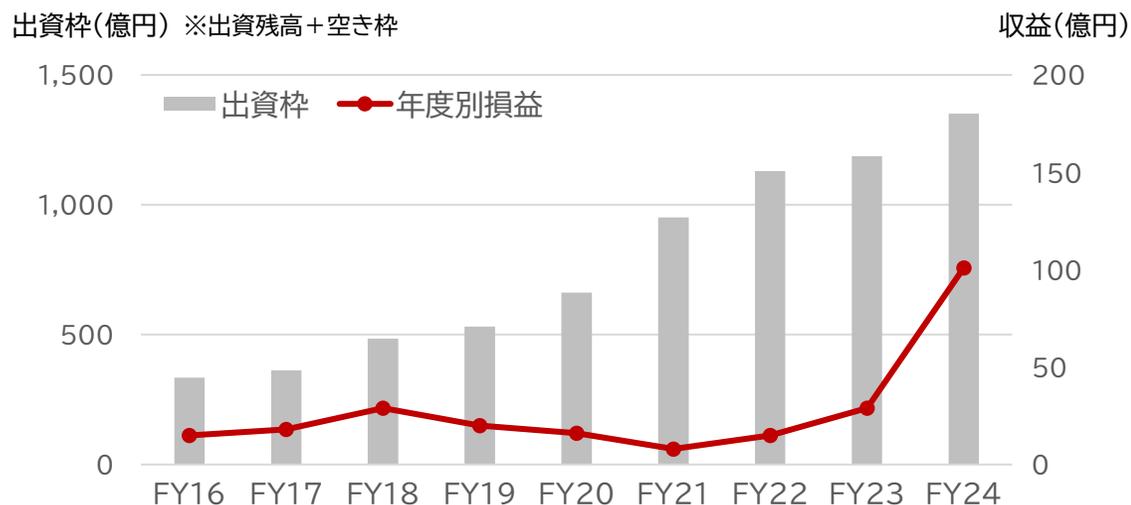
- FFGの各銀行が持つ九州内の買い手ネットワーク
- フーリハンローキーグループとの包括業務提携による全国の買い手ネットワーク
- FFGと国内有力事業承継ファンドとの強固な関係

4. 投資銀行ビジネス② 【ファンド投資・ストラクチャードファイナンス】

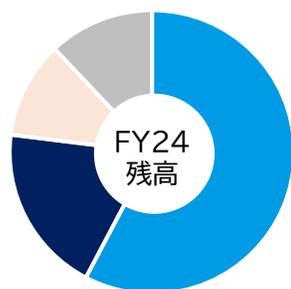
- 長年の取り組みにより、ファンド出資からのEXIT収益獲得と良質なストラクチャードファイナンス案件の積み上げを実現
- 首都圏等で獲得したビジネス資源(ノウハウ・収益)を地域の中核企業支援など、商業銀行ビジネスに取り込む

ファンド投資

【福岡銀行の出資枠・収益推移】 ※ベンチャー投資除く



【ファンド種別】

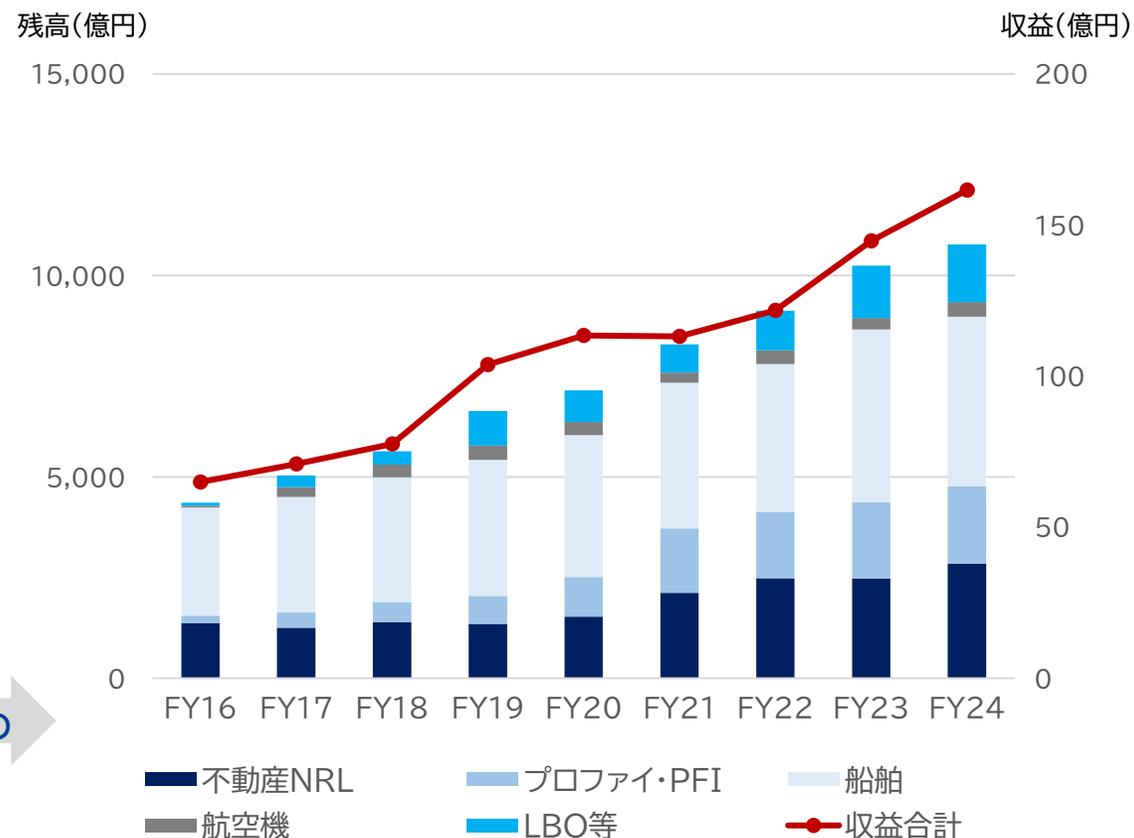


- バイアウト・再生
- シップ・不動産・インフラ
- メザニン・デッド
- その他

LBOローンや
不動産NRL等の
案件持込・協業

ストラクチャードファイナンス

【福岡銀行の残高・収益推移】



5. シングルプラットフォーム・マルチブランドの進化①

- FFGは経営統合を通じて「シングルプラットフォーム・マルチブランド」という独自の経営体制を確立
- 経営統合によるインオーガニックな成長を取り込むことで、マイナス金利下でも持続的なEPS成長を実現

経営統合の歴史とEPSの推移

① 2007年 FFG発足 熊本銀行、親和銀行経営統合

2009年 福岡銀行と熊本銀行の事務システム統合

熊本銀行と親和銀行の事業再生事業と不良債権関連事業を会社分割により福岡銀行へ承継

2010年 福岡銀行と親和銀行の事務システム統合
(シングルプラットフォーム・マルチブランド確立)

② 2019年 十八銀行経営統合

2020年 親和銀行と十八銀行が合併

2021年 十八親和銀行の事務システム統合

十八親和銀行の店舗統合開始

③ 2023年 福岡中央銀行経営統合

【EPSの推移】



※1 熊本銀行・親和銀行との統合にともない発生した「のれん」の一括償却▲948億円を除く

※2 十八銀行との経営統合にともなう「負ののれん」発生益+1,174億円、統合関連費用▲110億円、貸倒引当強化▲505億円等を除く

※3 外債ロスカット影響等▲261億円を除く

5. シングルプラットフォーム・マルチブランドの進化②

■ シングルプラットフォーム・マルチブランドを追求することで、グループ収益(ROE)の最大化を実現する

- 1 グループ全社最適の目線で中長期戦略を立案【経営資源の選択と集中】
- 2 マーケットポテンシャルに応じたリソース配分(人員・RA)を実施
- 3 共通業務をFFGに集約し、高度化と効率化を実現



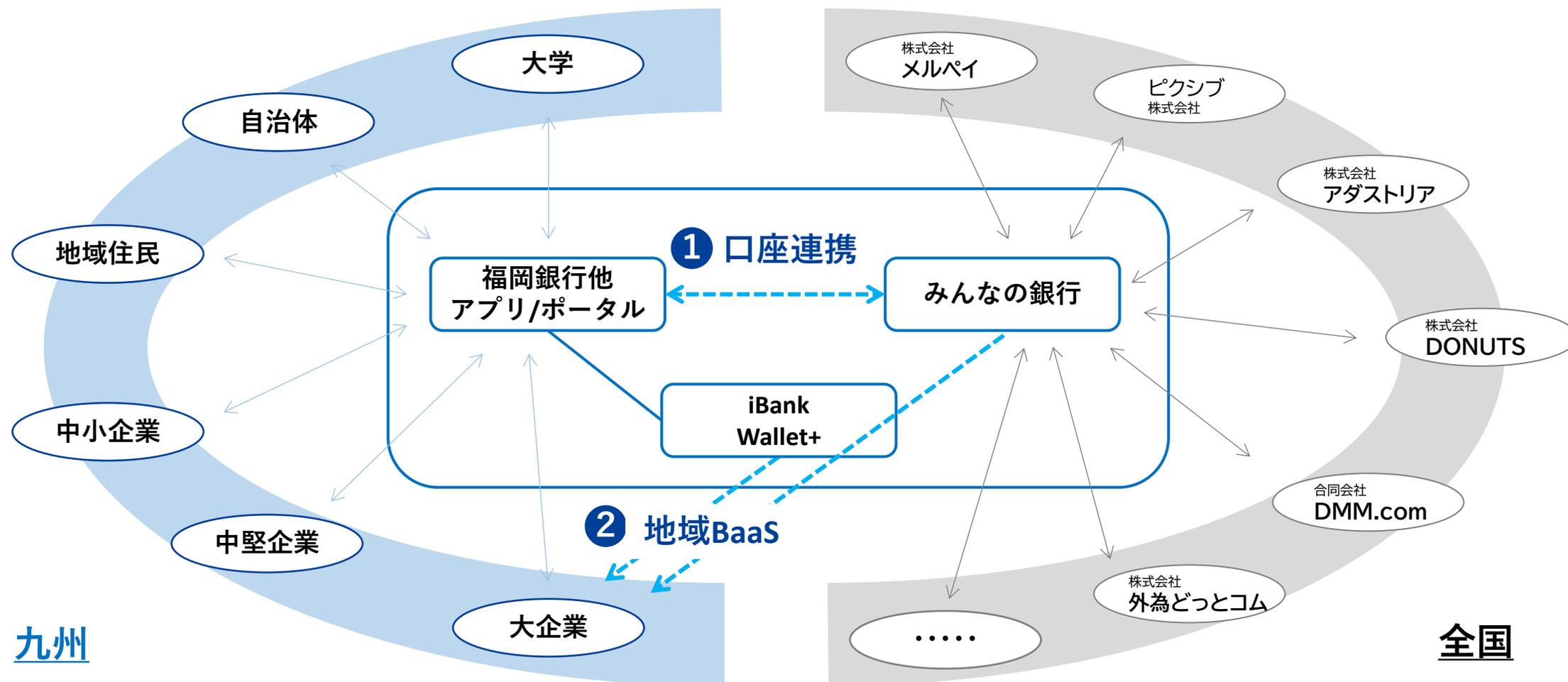
6. デジタルを起点とした成長戦略【FFG経済圏の構築】

■ FFGが築いてきたデジタルの知見・ネットワークを活用した利便性・利得性の向上により、地域顧客の囲い込みを図る

- ① みんなの銀行のBaaS連携先のサービスを福岡銀行他の顧客に提供
- ② iBankやみんなの銀行の機能・ノウハウを活用した地域企業へのBaaS提供

行動
変容

- ✓九州外への転出による取引解消
- ✓相続による預金の流出
- ✓金利選好による他行への預貸金流出

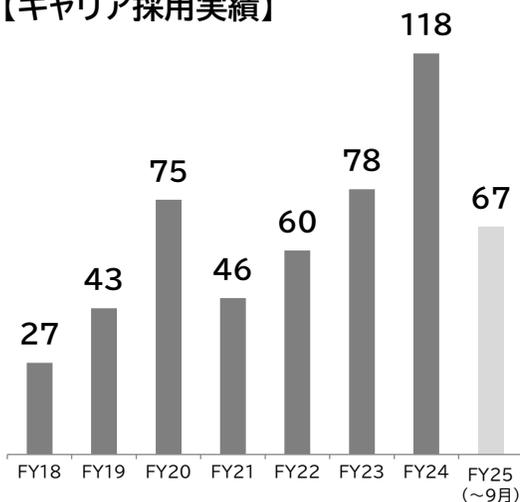


7. 人財の獲得・育成

■ 戦略を実現する人財の獲得・育成に向けて、積極的な人的資本への投資を継続

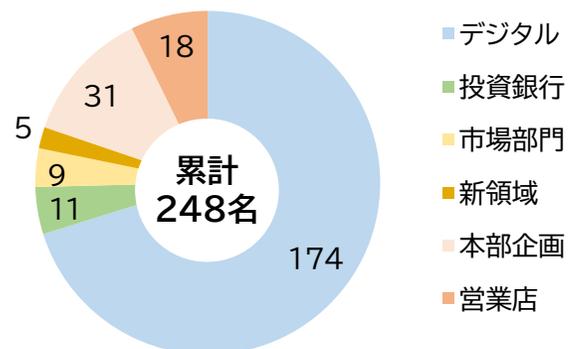
キャリア採用による専門人財の獲得強化

【キャリア採用実績】



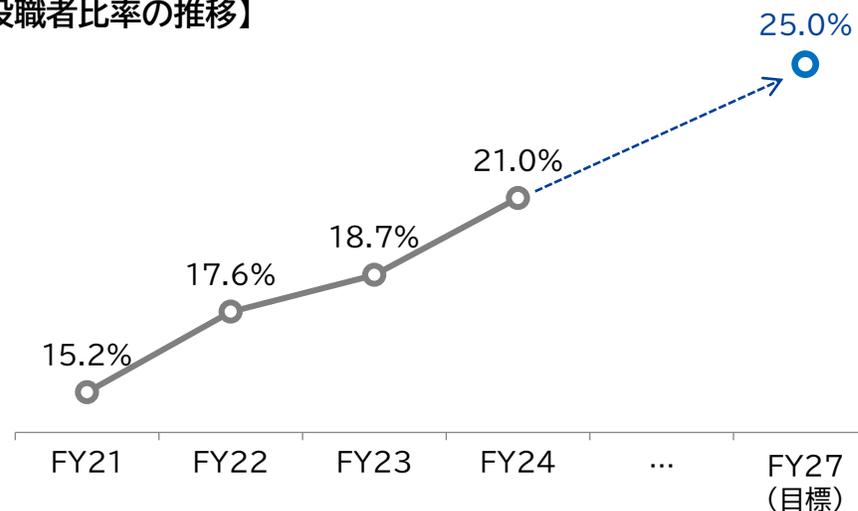
【左表採用者の内訳】

みんなの銀行除く



DE&Iの推進

【女性役職者比率の推移】



外部出向による専門人財の育成

現役出向者 (武者修行)		強化領域	出向先
FY23	84名	デジタル	官公庁/システムベンダー ほか
FY24	64名	投資銀行	福岡キャピタルパートナーズ ほか
FY25	63名	市場	メガバンク/証券会社 ほか
		商業銀行	大学/自治体/地域中核企業 ほか

従業員の処遇改善と企業価値向上の好循環創出

賃上げ率	
FY23	+6.0%
FY24	+6.4%
FY25	+6.0%

【従業員持株会へ加入状況】

25/6 時点	加入者数	7,200名
	加入率	82.5%

【従業員エンゲージメント】

FY24実績: 59.0 (ランクA)

※ 本サーベイを利用している約1万社の平均がスコア50、ランクは高いものからAAA-DDの全11区分(Aは上から3つ目のランク)

FFGの差別化要素

I. 九州経済の成長と営業エリアでのFFGのプレゼンス

- 半導体関連を中心とした九州経済の更なる成長
- 他行にはない高付加価値のソリューション提供により、金利競争によらない預貸金シェアの維持・拡大が可能

II. シングルプラットフォーム・マルチブランドの進化

- マーケットポテンシャルに応じたリソースの最適配分と共通業務集約による効率化で、グループ収益(ROE)を最大化

III. デジタルを起点とした独自の成長戦略

- iBank、みんなの銀行の経験で得た機能・ノウハウと、FFGの強固な顧客基盤の組み合わせで実現する、地域顧客の囲い込み
- みんなの銀行による全国へのアプローチ

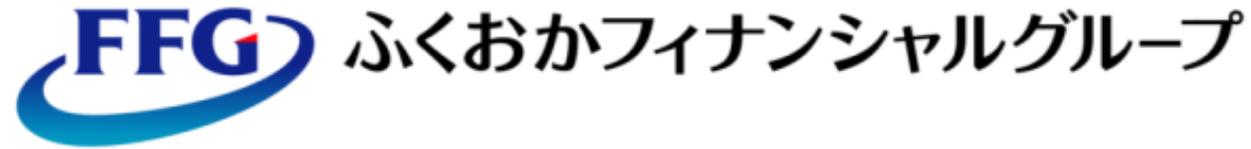
IV. 戦略を実現する人財の採用と育成

- 積極的な人的資本への投資により、企業価値向上の好循環を創出する

≫ 8次中期経営計画

		(前年比)	
		FY24実績	FY27計画
預金	法人	+1.7%	+1.1%
	個人	+2.4%	+2.2%
貸出金	大・中堅	+2.3%	+2.4%
	中小	+2.7%	+3.2%
	個人	+2.2%	+1.9%

		FY24実績	FY27計画
効率性	連結OHR	61.5%	50%半ば
収益性	ROE	7.4%	9.0%程度
	連結純利益	721億円	1,000億円
健全性	自己資本比率	10.0%	10%台



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料に記述された将来の業績に関する記述につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。
- なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。

〈本資料に関する問い合わせ先〉

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部 経営企画グループ

TEL : 092-723-2255 E-Mail : ffg-ir@fukuoka-fg.com